

10月26日（日）第1回そうか公園協議会

そうか公園リニューアルについて

1. そうか公園協議会について
2. 草加市とそうか公園について
3. そうか公園リニューアル事業について
4. そうか公園リニューアル基本構想について
5. 今後のスケジュールについて

1. そうか公園協議会について

- ①公園協議会について
- ②そうか公園協議会について
- ③協議会の予定スケジュール

①公園協議会について

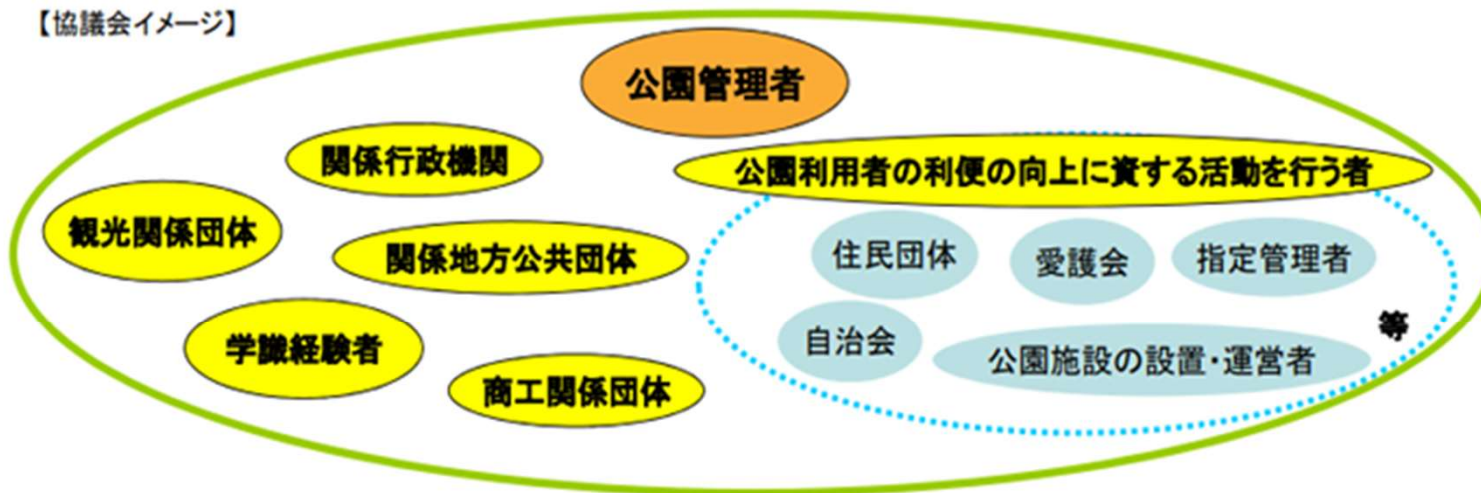
 国土交通省

問題意識

- 立地条件が良いにもかかわらず、十分利用されていない公園もあるのではないか
○ボール遊び禁止、バーベキュー禁止など一律禁止ではなく、公園を利用する地域住民等と公園利用のローカルルールを決めていく仕組みがあっても良いのではないか

○公園管理者は、都市公園の利用者の利便の向上に必要な協議を行うための協議会を組織することができる。
○各構成員には、協議が整った事項について尊重義務がある。

【協議会イメージ】



協議会における協議事項(例)

- 地域の賑わい創出のためのイベント実施に向けた情報共有、調整
- キャッチボールやバーベキューの可否、可とする場合のルール等、都市公園ごとのローカルルール作り
- 都市公園のマネジメント方針、**計画** 等

都市公園法 17条の2に基づき設置

出典：国土交通省

②そうか公園協議会について

1) 設置目的

市民主体の多角的な視点によりそうか公園の利便性及び魅力を高め、もって市民に**愛されるそうか公園**を実現するため、そうか公園協議会を設置する。

そうか公園協議会設置要綱第1条

②そうか公園協議会について

2) 協議事項

- (1) そうか公園の**リニューアル**に関する事項
- (2) そうか公園の**魅力の向上**に関する事項
- (3) そうか公園の**施設の整備及び管理運営**に関する事項
- (4) 前3号に掲げるもののほか、協議会の設置目的を達成するために必要な事項

そうか公園協議会設置要綱第2条

②そうか公園協議会について

3) 協議会構成、任期等

委員数 / 10名

事務局 / みどり公園課

- 委員構成 /
- (1)学識経験者 4人
自然環境/造園、造園/ランドスケープ
経営/マーケティング、都市計画/こども
 - (2)地域関係者の代表 3人
草加川柳ブロック、つなぐば家守舎
 - (3)公募による市民 1人
 - (4)公園管理者 1人
 - (5)その他市長が必要と認めるもの 1人

任期 / 令和7年9月16日～令和9年9月15日
(リニューアル基本計画策定まで)

＜参考＞

- ・ 期間 令和9年3月まで
- ・ 回数 年3回
- ・ 時間 2時間～3時間

第3条（委員の構成等）、第4条（任期）、第10条（庶務）

2. 草加市とそうか公園

- ①草加市について
- ②そうか公園について

①草加市について

1) 草加市の概要

埼玉県 の 東南部に位置し、日光街道 2 番目の宿場である草加宿を中心に古くから発展。

1960年代から、東武線と地下鉄の相互乗り入れ、松原団地の造成等により急激に人口が増加し、東京のベッドタウンとして都市化が進行した。

人口 252,434人（県内6位）

面積 27.46 km²

(※数値は令和7年10月1日現在)



草加せんべい



皮革製品



草加市の公園

都市公園数 293園

代表公園 そうか公園、まつばら綾瀬川公園、松原団地記念公園
草加松原公園

特徴 500㎡未満の小規模公園が多い（約200園）



まつばら綾瀬川公園



松原団地記念公園



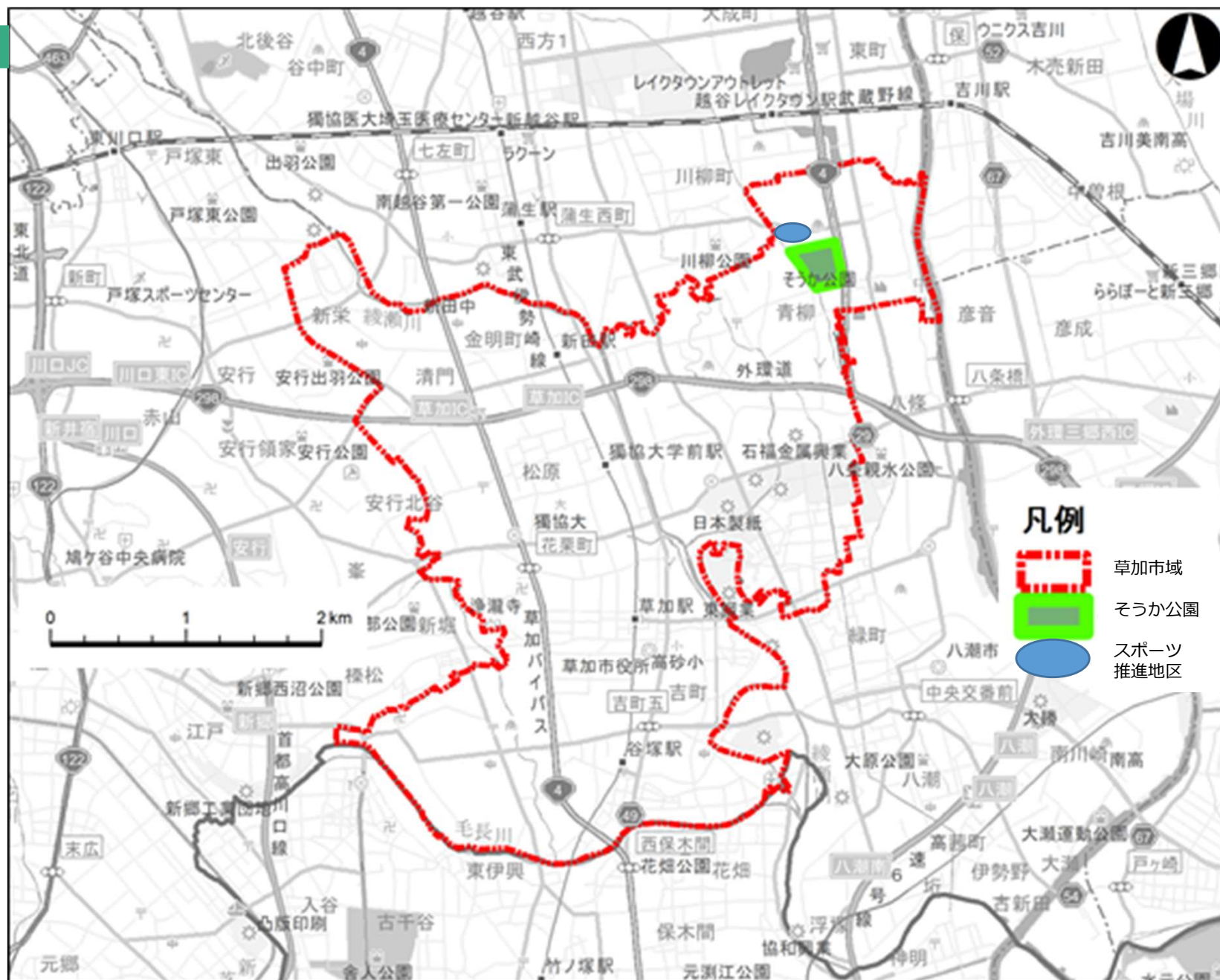
草加松原公園



青柳第13公園

①草加市について

2) 位置図



②そうか公園について

1) そうか公園の沿革

- **昭和47年**
都市計画決定 埼玉県告示第1470号 17.8ha
- **昭和52年7月 ~ 昭和53年7月**
基本構想の策定
そうか公園建設推進市民委員会 15名
- **昭和56年11月 ~ 昭和58年8月**
基本計画の策定
そうか公園基本計画策定検討委員会 10名
- **昭和59年**
工事開始 段階的整備
- **昭和63年**
都市公園告示 2.54ha
- **平成6年**
完成 17.8ha



春のそうか公園



秋のそうか公園

2) 基本計画の内容

基本理念

人とのふれあい、自然とのふれあいによる新たなふるさとの創出

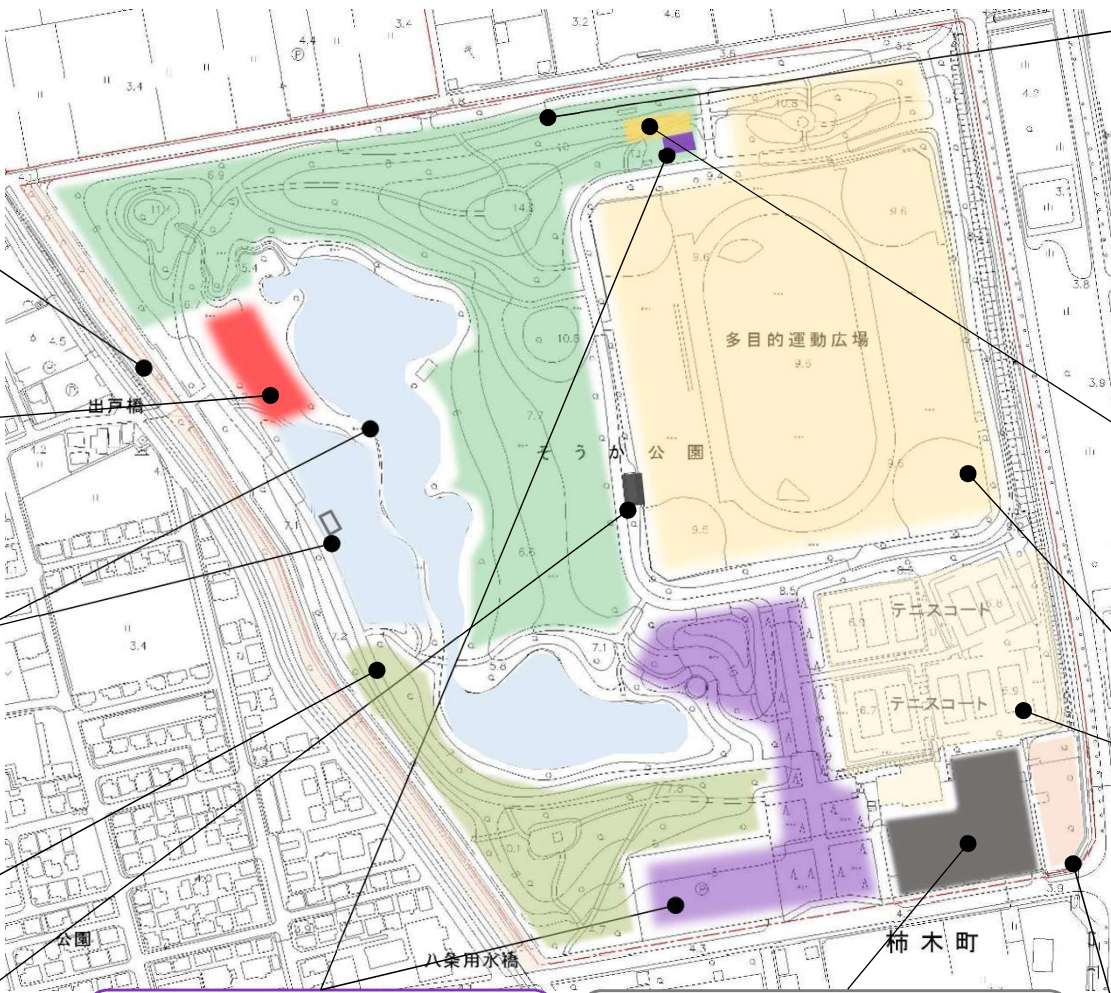
基本方針

- 人とのふれあいのある公園に
- 豊かな自然とのふれあいのある公園に
- だれでもが気軽に親しめるスポーツの場を
- 新たなふるさとづくりとなる誇りと愛着のもてる公園に
- 子どもに焦点をあてた活力のある公園に
- 市民と一体となった公園づくりと運営
- 周辺施設と一体的な活用が図れる公園に
- 安全で快適な公園に

②そうか公園について

そうか公園
リニューアル

3) 整備の経過



昭和61年度
施設：八条用水沿い遊歩道
内容：サクラ並木（延長約500m）
ソメイヨシノ80本
ヤマザクラ80本

平成12年度
施設：遊具広場
内容：複合遊具、スプリング遊具

平成1年度
施設：修景池
内容：水深0.6～2.4m 1.2ha 花菖蒲等
施設：トイレ
内容：木造平屋（28.09㎡）

昭和63年度
施設：四季の森（春）
内容：標高10mの山 春に花が咲く植栽

平成6年度
施設：トイレ
内容：鉄筋コンクリート造一部木造平屋建（62.4㎡）

平成4年度
施設：入口広場
内容：メタセコイヤ並木（170m、47本）
施設：イベント広場
内容：約500人収容
施設：第2駐車場
内容：96台
施設：トイレ
内容：鉄筋コンクリート造平屋建（22.48㎡）

平成5年度
施設：第1駐車場
内容：車132台 自転車110台
施設：イベント広場ステージ
内容：ステージ、オブジェ
施設：入口
内容：門柱（黒御影石）
施設：モニュメント
内容：オイルポンプ（カーソン市からの寄贈）

平成2年度
施設：市民の森（一部記念樹の森）
内容：標高約15mの山 1.7ha
施設：四季の森（秋）
内容：標高約13mの山 0.4ha
紅葉の美しい植栽
施設：滝・流れ
内容：延長185m 幅0.5m～2.0m
施設：自由広場
内容：コウライ芝の広場（約1.4ha）

平成15年度
施設：キャンプ場
内容：釜戸5基、四阿

平成3年度
施設：多目的運動広場
内容：400mトラック サッカー場
野球場2面 ソフトボール場2面
施設：記念樹の森

昭和62年度
施設：テニスコート
内容：人工芝10面
施設：クラブハウス
内容：鉄筋コンクリート造一部木造平屋建（62.4㎡）

平成22年度
施設：ドッグラン
内容：約1600㎡
3面（小型、中大型、コミュニティ）

②そうか公園について

そうか公園
リニューアル

4) 施設配置



①入口広場



⑤多目的運動広場



⑥自由広場(芝生広場)



⑦修景池



⑳遊具広場

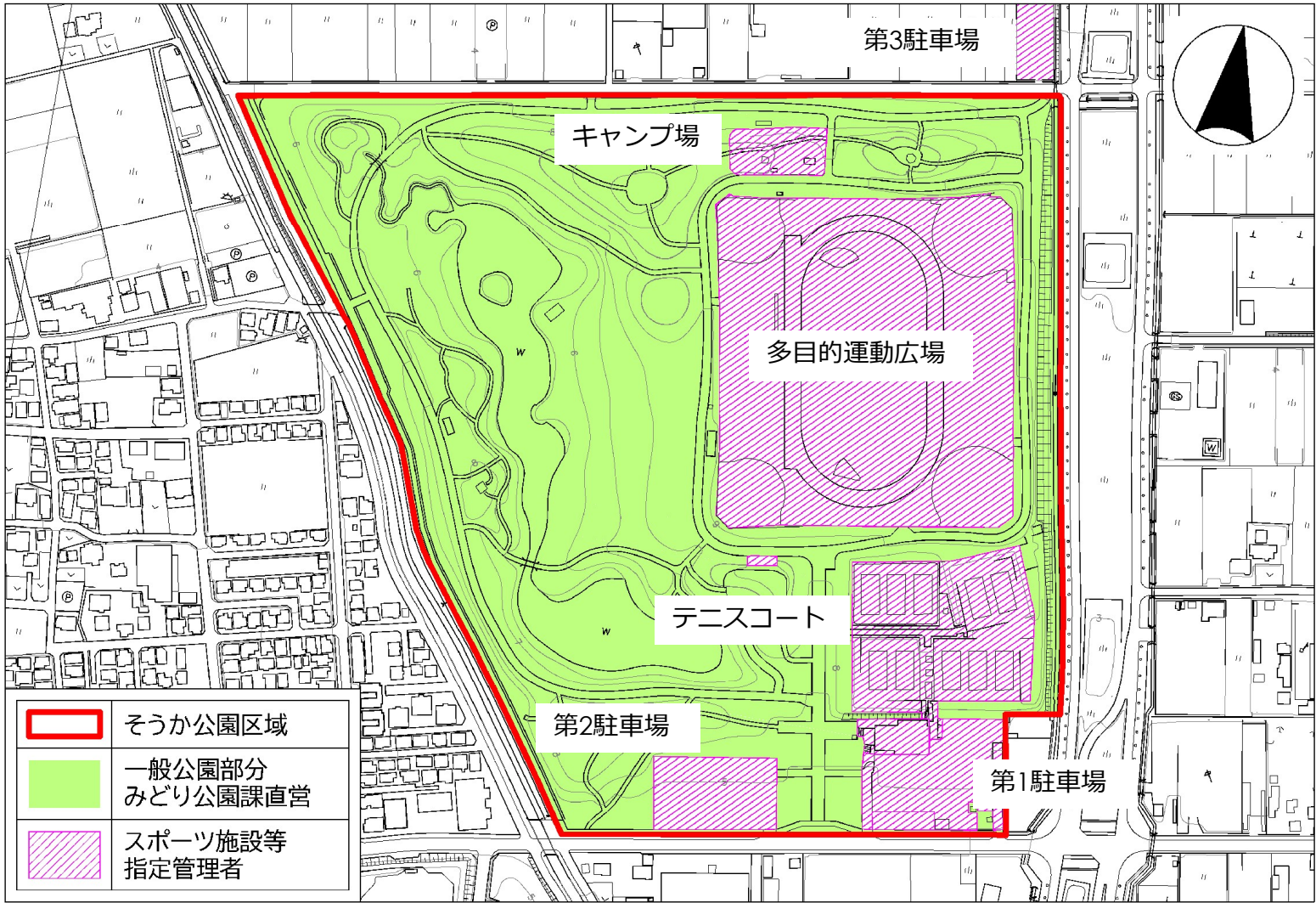


㉑キャンプ場(市民の森)

②そうか公園について

5) 管理区分

一般公園部分は、みどり公園課の直営管理となっており、スポーツ施設等は、スポーツ振興課所管の施設であり、公益財団法人草加市スポーツ協会が指定管理者として管理運営している。



■参考
スポーツ
公園

年間管理費
約7,000万
約9,500万

②そうか公園について

6) 主な施設利用状況

キャンプ場（有料施設）

- ・年間4千人利用
- ・市外からも利用が多い

遊具広場

- ・地域の子の利用が多い
- ※人流データによる

イベント広場

- ・イベント利用はなし

修景池

- ・野鳥の観察できる場として利用されている
- ※環境課より聴収

多目的運動広場（有料施設）

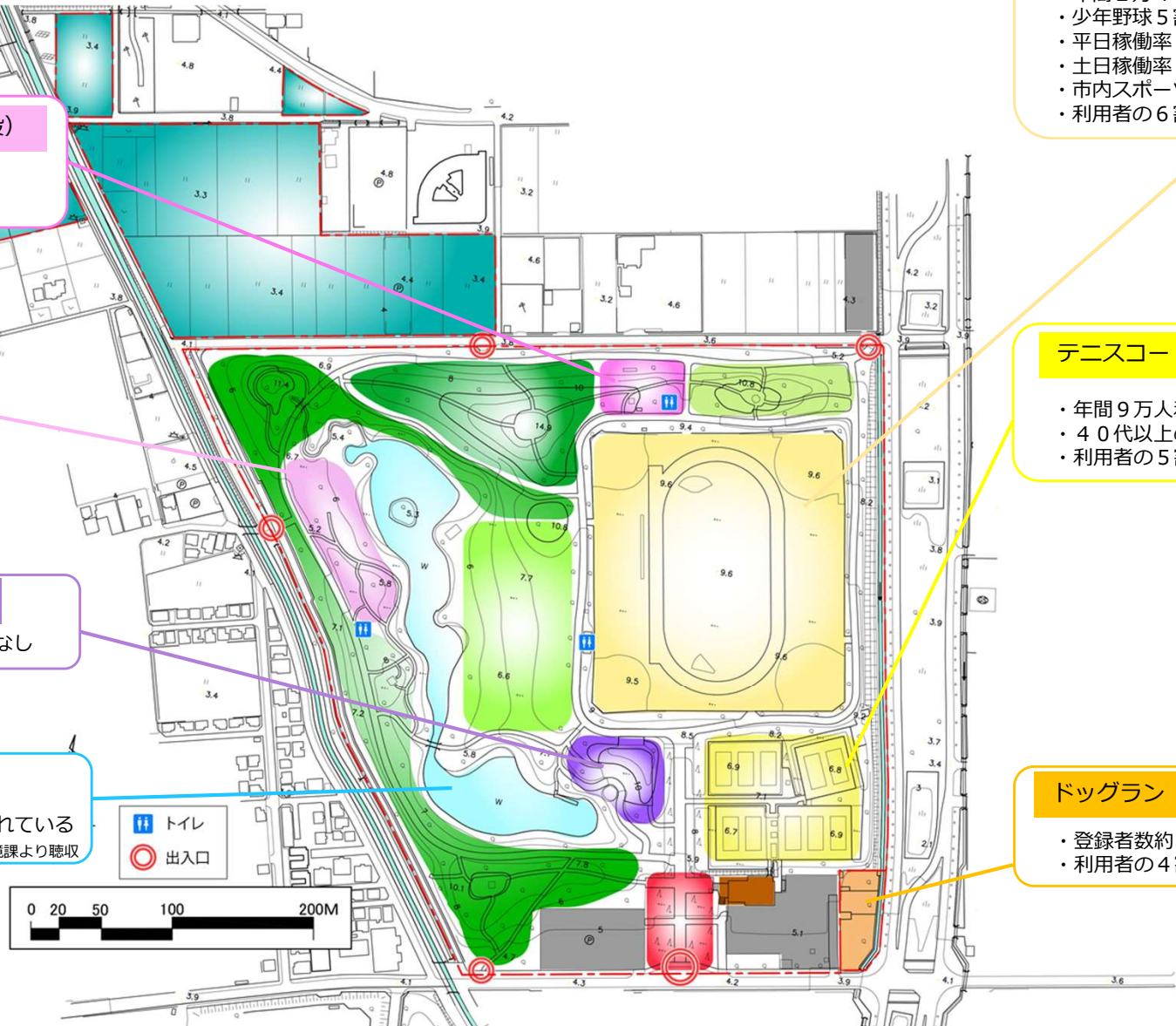
- ・年間2万4千人利用
- ・少年野球5割野球2割サッカー1割
- ・平日稼働率3割未満
- ・土日稼働率7割
- ・市内スポーツ団体の利用が多い
- ・利用者の6割以上が草加市民

テニスコート（有料施設）

- ・年間9万人利用
- ・40代以上の利用が多い
- ・利用者の5割以上が草加市民

ドッグラン

- ・登録者数約1700人
- ・利用者の4割未満が草加市民



②そうか公園について

7) そうか公園の課題

そうか公園全体に関する主な課題・問題点

バリアフリーへの対応

最新の基準に適合した施設整備水準やバリアフリー動線確保が必要

トイレの老朽化

悪臭や水圧不足で手洗いが使用できない。故障による使用禁止の部分もある

公園灯のLED化

公園灯の半数以上がLED化されていない。支柱も老朽化によって更新が必要

樹林の大経木化

樹木の適正密度の超過のため、植物の健全な生育環境への転換が必要
防犯の観点から死角の解消や、園外からの見通しが確保しづらい

サインの統一化

園内の案内サインや誘導サインが老朽化により、見えづらいものが多い

園路の舗装

園路の舗装が一部未舗装となっている

防災機能の不足

広域避難場所として位置づけられているが、機能的・効果的な施設設備が不足している

外来種による被害

クビアカツヤカミキリによる桜への被害があり、樹勢が弱っている
修景池において、外来種が多い

管理運営

総合公園であるが、現地に管理事務所がないことから、迅速な対応ができない
公園愛護会等活動する担い手が少ない

公園施設毎の主な課題・問題点

そうか山

- 樹木の適正密度の超過により、生育環境が健全でない
- 人通りが少なく、草加市にて標高が一番高いが活用がされていない

滝流れ

- 流れのポンプが老朽化しており、機能改善が難しい

遊具広場

- 遊具点検にて「修繕が必要」と判定された遊具が一部ある
- 幼児用の遊具の充実や小学生高学年向けの遊具設置の要望がある

修景池

- 修景池全体の維持管理費の増大（水草の除草、設備関係の老朽化）
- 生育環境保全の観点から水質浄化や生育不良のショウブ園がなくなりつつある
- 水に触ることができない状態
- 木製デッキが故障しており、立入禁止である

イベント広場

- 活用がされていない
- 照明設備が一部故障している

キャンプ場

- 受付のクラブハウスから遠く、利用しづらい
- 木の根が盛り上がり、テントを張りづらい

記念樹の森

- 樹木の適正密度の超過により、生育環境が健全でない

多目的運動広場

- 競技の同時利用ができない
- 防球ネットやトラックなど老朽化している
- 芝生と走路の段差が危険である

クラブハウス

- 放送機器等更新が必要となっている
- 階段から入ることしかできず、バリアフリー不適合である

テニスコート

- 点検にて、四阿は修繕が必要の判定

ドッグラン

- 利用者間のトラブルが多い

駐車場

- スポーツの大会時や公園でのイベント時、花見の時期等、駐車台数が不足している
- 目的外駐車がある

3. そうか公園リニューアル事業について

- ①そうか公園リニューアル事業について
- ②リニューアル事業の進め方
- ③関連計画

① そうか公園リニューアル事業について

1) 背景

〔1〕老朽化

開園から約40年経過していることから各公園施設の老朽化が著しい

〔2〕都市公園法改正

平成29年に都市公園法が改正

- ・公募設置管理制度（P-PFI）の創設
- ・協議会の設置

〔3〕都市公園新時代（有識者提言）

令和4年10月国土交通省発表

- ・使われ活きる公園
- ・新たな時代に向けた重点戦略

〔4〕周辺まちづくりの変化

- ・越谷レイクタウンの街びらき
- ・草加柿木産業団地の本格稼働
- ・東埼玉道路専用部（有料高速道路）の事業化

2) 目的

〔1〕老朽化した施設の更新

- ・安全性の観点から更新

〔2〕利用者の満足度向上

- ・そうか公園に「満足」回答36.6%からの向上
- ・草加市の公園・緑地に「満足」回答39.4%からの向上

※ 令和5年利用者アンケート、令和4年市民アンケート

〔3〕時代のニーズにあった施設更新

- ・既存施設の機能見直し
- ・新たな施設の導入

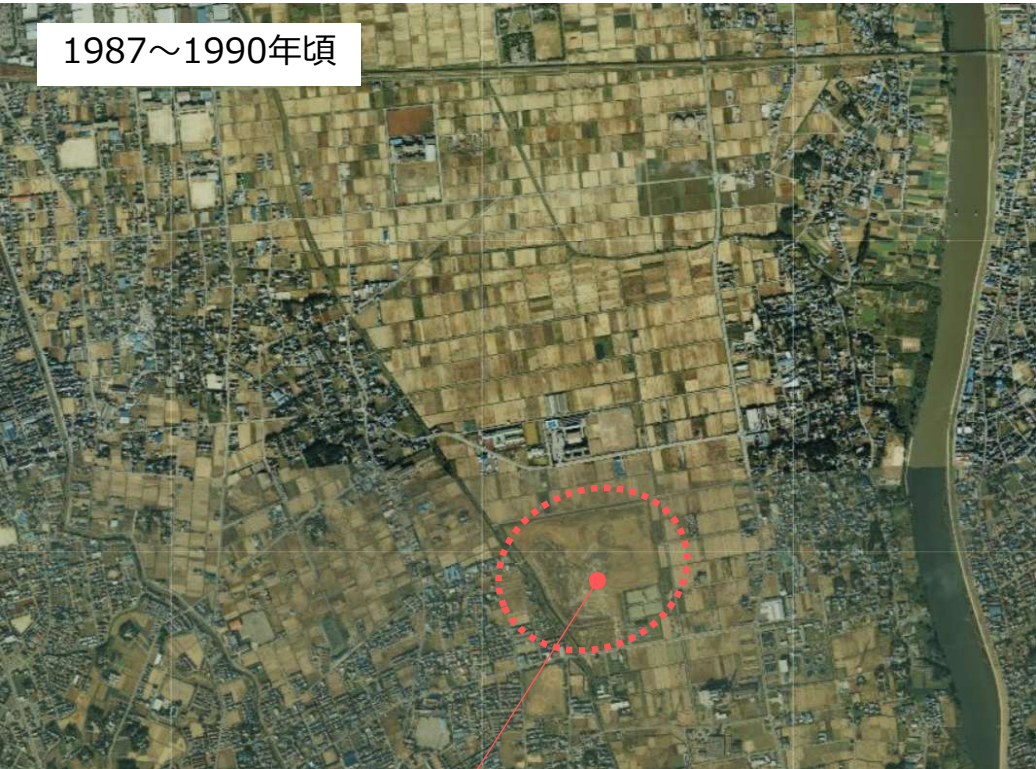
〔4〕管理運営体制の強化

- ・公園全体の効果的な運営体制
- ・多様な主体の公園への関わり
- ・公民連携手法の検討

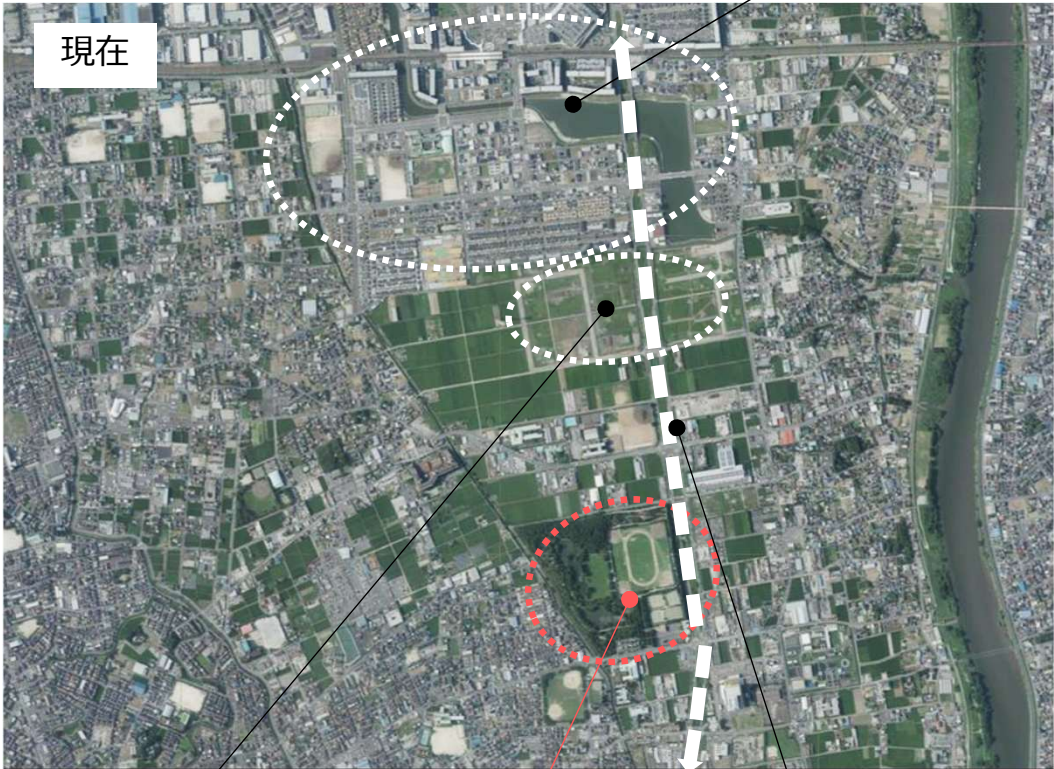
①そうか公園リニューアル事業について

そうか公園
リニューアル

3) 航空写真



そうか公園



②リニューアル事業の進め方



現況調査

令和4年、令和5年

- ・既存施設の整理
- ・立地分析
- ・庁内アンケートによる影響度調査
- ・課題の抽出
- ・関連計画の整理



基本構想

令和5年、令和6年、令和7年

- ・ニーズの把握
- ・民間事業者へのヒアリング
- ・スポーツ推進地区の調整
- ・学識者へのヒアリング
- ・公園での社会実験
- ・公募型サウンディング調査
- ・協議会
- ・基本構想の検討、策定



基本計画

令和8年

- ・導入機能の検討
- ・管理運営方法の検討（公民連携を含む）
- ・ワークショップ等（市民意見の把握）
- ・公募型サウンディング調査（2回目）
- ・協議会
- ・基本計画の検討、策定



リニューアルに向けた手続き

令和9年以降

- ・管理者の検討
- ・募集要件の検討



リニューアル工事

令和9年以降

段階的整備

②リニューアル事業の進め方

R 4～R 7	R 8
---------	-----

基本構想

- 現状、課題整理
- 市民ニーズの把握
- 利用者ヒアリング
- 公民連携の可能性調査
- そうか公園協議会

基本理念や基本的な方向性の検討

「骨格」づくり

基本計画

- 導入機能の検討
- 管理運営方法の検討
- ワークショップ等
- 公民連携の実現性の検討
- そうか公園協議会

構想に基づく必要機能、施設の具現化

「骨格」への肉づけ

③関連計画

計画名	内容
第四次 草加市総合振興計画 第3期基本計画	・重点テーマとして「持続可能性が向上するまちづくり」「多様性を尊重するまちづくり」「パートナーシップが育つまちづくり」を掲げている。 ・施策2「みどりの保全と公園の再生・活性化身近なみどりとオープンスペースの保全を図るとともに、パーク・マネジメントの視点から公園の再生・活性化を進めます。
草加市都市計画マスタープラン2017-2035 (令和8年見直し予定)	・スポーツ推進地区では、スポーツを通じた健康づくり促進のために、そうか公園の北西部にスポーツ機能の立地をめざします。 ・公園・緑地は、都市にゆとりと潤いを与えるだけでなく、にぎわいや交流の場であるとともに、災害時の避難所や復旧・復興の拠点、雨水の浸透・貯留、ヒートアイランド現象の緩和、健康づくりの場など多様な機能をもち、まちを支える重要な都市施設です。そうか公園などは、観光資源としても重要な役割を担っています。 ・「草加松原や札場河岸公園、綾瀬川左岸広場、そうか公園、治水緑地、松原団地記念公園などを市民が憩う水辺とみどりの交流拠点として位置づけ、適正な維持管理と機能の充実を図ります。 ・そうか公園をみどりの核と位置づけ、適正な維持管理や機能の充実を図り、市民の憩いの場としての活用に取り組みます。
第三次草加市観光基本計画	「そうか公園のリニューアルを契機に、そうか公園を拠点とした集客を図る取組を目指します。」を目標にしている。

計画名	内容
みどりの基本計画 (令和8年見直し予定)	・「水と緑の交流拠点」として位置づけられている。 ・そうか公園は、「生物の生育・生息空間となるみどり」、「スポーツ・健康づくりの拠点となるみどり」と掲げている。 ・基本方針として「そうか公園は、みどりの拠点として適正な維持管理や機能の充実を図り、市民の憩いの場としての活用に取り組みます。」「北西部のスポーツ推進地区では、自然環境との調和に配慮したみどりを備えたスポーツ・レクリエーション機能を導入し、みどりの核となるそうか公園との相乗効果による拠点の形成をめざします。」と掲げている。
草加市地域防災計画＜震災対策編＞	・「広域避難場所」として位置づけられている。 ・臨時ヘリポートとして緊急離着陸場に指定されている。 ・応急仮設住宅建設予定地（案）として位置づけられている。
第二次草加市環境基本計画〔第三版〕 生物多様性そうか戦略 (第二版)	「残したい草加の自然」として掲げられている。
草加市景観計画2020-2035	「水とみどりの景観ゾーンであり、桜並木や緑地帯、散策路の維持保全を図ります。」と掲げられている。
第二次草加市スポーツ推進基本方針	今後の人口減少や財政状況を踏まえた上で、「草加市公共施設等総合管理計画」に基づいた施設の更新を図るとともに、本市の基幹計画である「都市計画マスタープラン」に記載されているスポーツ推進地区の拠点整備を進め、効果的なスポーツ推進を図る上での施設の在り方、運用方法、事業展開等について検討が必要です。

4. そうか公園リニューアル基本構想について

- ①柿木・青柳グランドデザイン
- ②利用者ニーズ（アンケート調査）
- ③公募型市場調査（プレサウンディング）
- ④基本構想策定にあたっての考え方

①柿木・青柳エリアグランドデザイン

そうか公園
リニューアル

1) 会議要旨

<第3回 エリアグランドデザイン 会議要旨>

“委員”からの意見

ディスカッションのポイント

柿木・青柳エリアの現状を見た時に、「魅力や可能性（ポテンシャル）」・「課題」はどんなものが挙げられるか？

- そうか公園多目的運動広場について、広くて使いどころが多いはずなのに、時間帯が悪かったのかもしれないが、今日は全然使われていなかった。あえて目的を決めた使い方がされていても良いのかなと思う。（秋元委員）
- そうか公園多目的運動広場や総合グラウンドについて、目的を統一したり、用具の貸し出しがあると良いと思う。（滝田委員）
- そうか公園キャンプ場について、利用者数も多いことから、整備を進めることで地域住民からの認知度が上がっていくのでは。（滝田委員）
- 地元の中学校の吹奏楽部が盛んであることから、そうか公園自由広場で演奏したら人が集まるのではないか。（豊田充咲委員）
- そうか公園は宝であり、そうか公園を活かした地域づくり、グランドデザインが重要だと思う。（小林委員）
- 川、そうか公園、水田は素晴らしいポテンシャルを持っている。特にそうか公園は、多少儲かるような商売を組み合わせていくと、すごく可能性がある。農地については、地元の野菜を使ったレストランを経営し地産地消を実現するなど、農業以外のお金になるような価値に変えていけると良い。（小泉委員）

“オーディエンス”からの意見

- そうか公園について、人間のためだけの公園という議論が多く、残念に思う。（加納さま）

①柿木・青柳エリアグランドデザイン

<第4・5回 エリアグランドデザイン 会議要旨>

“ワークショップ” で出たそうか公園に関する意見

ワークショップの内容

3回目の会議までに出た10個の視点を「まちの将来像」「取組の方向性」について意見出しをする。

こどもからお年寄りまでみんなで暮らせるエリア

公園内でペットと一緒に散歩

- 公園内を犬と散歩することで、子ども、孫、高齢者も歩き、健康につながる。
- 男女、世代関係なくコミュニケーションが取れるきっかけづくりになる。

野外ステージの有効活用（コンサート等）

遊具・健康器具の更新・新設

- 朝歩くときに動植物や季節感の変化が味わえるとよい
- 健康増進にもつながる
- 現状、器具がボロボロ
- こどもが遊ぶ遊具（アスレチックなど）があるとよい
- そうか公園内の健康器具の配置間隔がちょうどよい

福祉施設とそうか公園をつなげる

- そうか公園と福祉施設との距離がある
- それぞれの施設が隣接していれば、福祉施設利用者が公園内で散歩などができるのに、惜しい気がする。
- そうか公園の使い方・目的がミックスされれば、多様な年齢層・属性の方が重なり交流できるが、現状は分断されている

災害に強い安全に暮らせるエリア

北東部スポーツ推進地区に屋内施設を建設

- そうか公園との防災機能を分担
- 施設内の休憩所に地場産の食材を使った食堂の運営

自然と生き物と共にあるエリア

自然との共生

- 緑被率が低い、そうか公園を整備した当時から比較すると緑がなくなっている
- そうか公園北側にある蓮（はす）を残して自然を生かしてほしい
- 田がなくなった時の保水機能について
- 植物の移植の難しさ

観光・レジャーで楽しめるエリア

歴史・文化をつなぐエリア

アリーナをはじめとしたスポーツ施設の整備

フードフェスの開催

- 柿木フーズサイト内の食品工場に協力を仰ぎ、そうか公園で開催（Park-PFIなど）

音楽フェスの開催

①柿木・青柳エリアグランドデザイン

スポーツ・健康づくりに親しめるエリア

質の高いスポーツ環境の構築

- 未来への投資の観点から、市にプロスポーツチームがあることで日常的にスポーツ観戦できる環境が整い、お金の流れが生まれ、市の財政力向上にも期待できる
- そうか公園を核に温水プールや中川等を融合し、エリア全体でプロデュース
- プロ・アマ、子ども・大人関係なく、誰でもスポーツができるエリアであることで、市のスポーツ振興や移住・定住に繋がる（スポーツ≒治安が良いイメージ）

プロではないチームの拠点

- 大学のカレッジリーグの練習拠点など、プロスポーツチームではない拠点である方が日常的に人が往来する

スポーツによるエリア内及びエリア内外との回遊性を創出

- 例えばプロスポーツチームの拠点を草加松原周辺の文化会館に整備し、柿木・青柳エリアには誰もが利用できるスポーツ施設を整備することで、草加松原エリアー柿木・青柳エリア間の回遊性が創出されエリアの発展にもつながる
- 子育て世代であれば、例えばこどもが保育園等に通う間にお母さんがピラティスなどを行い、帰ってきたらこどもがスポーツに取り組むなど、一日スポーツに親しめるエリアを構築
- 「ベットタウン（寝に帰るだけのまち）」から「生活するエリア」への形成

太極拳やヨガができる場をつくる

- ハードではなくソフトな取組が健康づくりには重要
- 星空の下でやれると心の健康にもつながる
- イベントの実施主体が課題

住み続けたいエリア

そうか公園のリニューアル

- そうか公園と連動する施設（温浴施設など）
- 陸上競技場の稼働率が低いいため、人を呼べるコンテンツにリニューアル（キャンプ場・サウナなど）

そうか公園内の多目的運動広場を温浴施設や グランピングに変更する

ビジネスができるエリア

そうか公園をどこからでも出入りできる公園にリニューアル

- そうか公園内の人の動線を意識したビジネスの展開

歴史スポット巡り

- 神社、寺院を巡る遊び、そうか公園とコラボ

②利用者ニーズ（アンケート調査）

1) 課題まとめ

- 駐車場台数に関する不満が多い
- 駐車場有料化に対しては、反対が多い
- トイレ、多目的運動広場に対する不満が多い

- 多目的運動広場での大会時に駐車場不足が顕著
- トイレは、悪臭や汚さ、オムツ替え台
- 多目的運動広場では、競技の同時利用ができない

2) ニーズまとめ

- 一般的な都市公園の機能の向上を求める声が多い
- 「みどり・自然」を大事にしてほしいという意見が多い
- 全体として「あそび」に関する要望が多い
- 若年層及び男性については「運動、健康づくり」
- 子育て世代及び女性については「あそび」
- シニア世代については「自然、健康」
- 飲食物販施設の拡充に関しては世代を問わず意見があった

- 利用者は市民や近隣の自治体が多いことから、周辺の大規模公園（舎人公園、みさと公園、しらこぼと公園など）との比較がされている
- 市街地が多い本市にとっては残された貴重な「みどり・自然」という印象がある
- 市内に特徴のある施設がない（足立区ギャラクシティ、川口市グリーンセンター等）

②利用者ニーズ（アンケート調査）

3) 目的

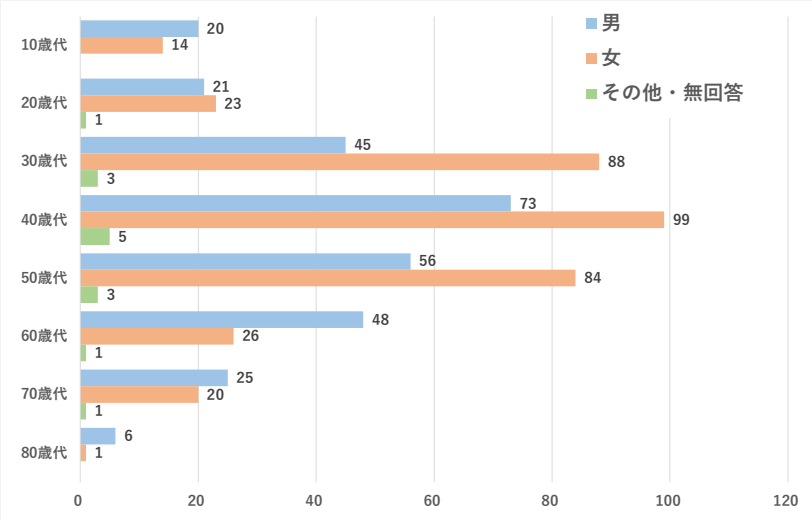
そうか公園は、経年によって施設が老朽化していることに加え、バリアフリーやインクルーシブ、災害・防災に対応している施設も少ないなど、これからの時代のニーズに応えるため、新しい総合公園としてリニューアルを予定している。利用者の率直な意見や意向を構想・計画に反映していくため、アンケートを実施した。

4) 調査概要

対象：そうか公園に来園した利用者及び市民
形式：氏名を記さない無記名方式のWEBアンケート
（スマートフォン及びPCによる回答）
期間：令和5年10月21日～令和5年11月26日
内容：回答者ご自身について
そうか公園の維持管理・運営について
そうか公園に望むこと
自由意見

回収結果：663件

5) 年齢・性別



No.	項目	男		女		その他・無回答		計	
		(N)	(%)	(N)	(%)	(N)	(%)	(N)	(%)
1	10歳代	20	3.0%	14	2.1%			34	5.1%
2	20歳代	21	3.2%	23	3.5%	1	0.2%	45	6.8%
3	30歳代	45	6.8%	88	13.3%	3	0.5%	136	20.5%
4	40歳代	73	11.0%	99	14.9%	5	0.8%	177	26.7%
5	50歳代	56	8.4%	84	12.7%	3	0.5%	143	21.6%
6	60歳代	48	7.2%	26	3.9%	1	0.2%	75	11.3%
7	70歳代	25	3.8%	20	3.0%	1	0.2%	46	6.9%
8	80歳代	6	0.9%	1	0.2%			7	1.1%
	計	294	44.3%	355	53.5%	14	2.1%	663	100.0%

(N)は回答数、(%)は割合

- 性別：男性294名（44.3%）、女性355名（53.4%）
- 年齢構成：40歳代が最も多く、10代、20代、70代以降が少ない

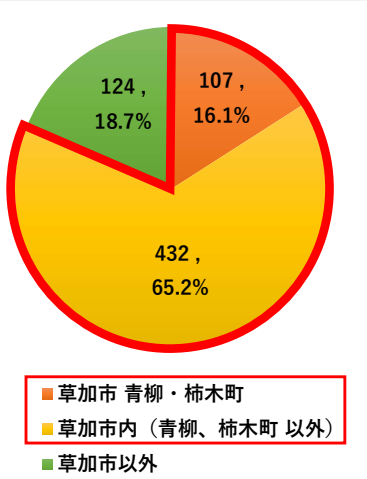


②利用者ニーズ（アンケート調査）

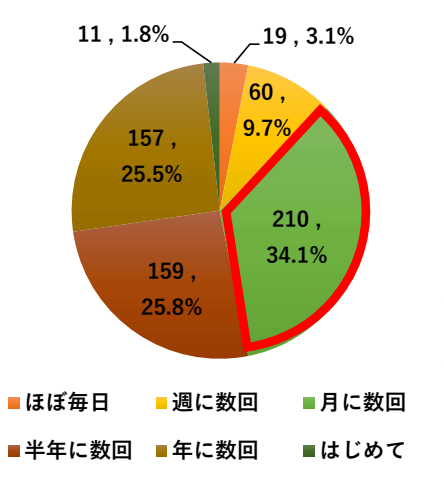
6) 回答者属性

- 回答者の約 8 割が草加市民である
- 月数回以上利用する人は半数以下である
- 来園手段は 6 割以上が自家用車である

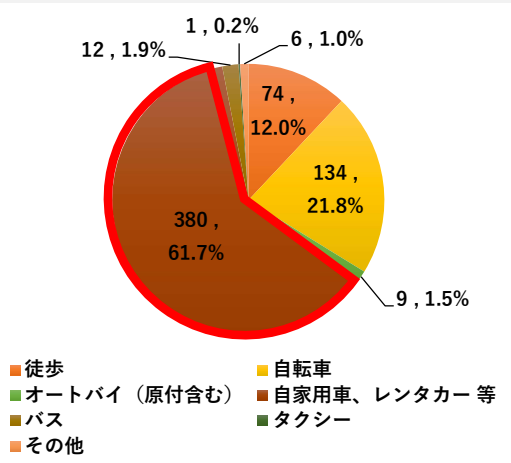
[居住地]



[来園頻度]

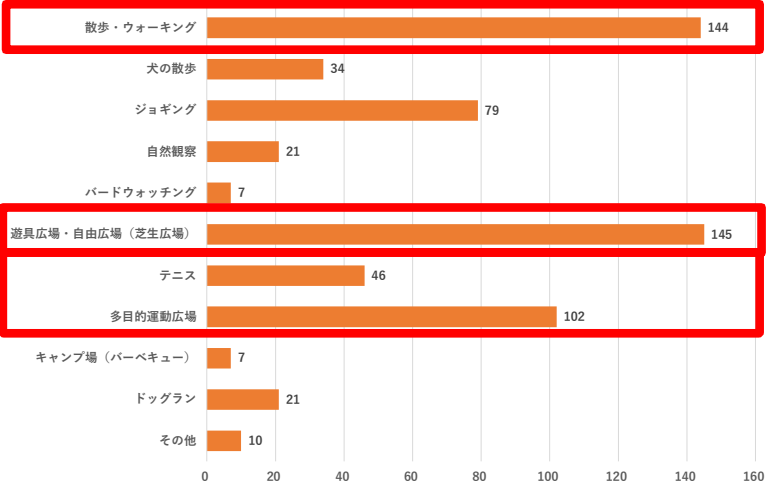


[来園方法]



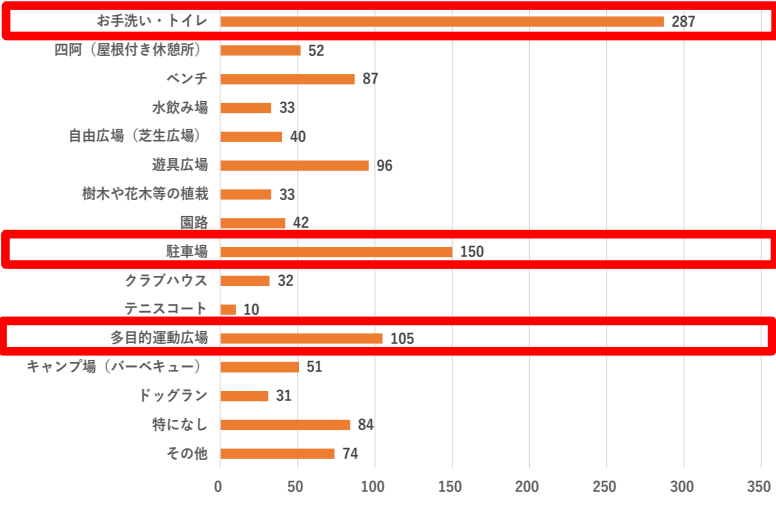
7) 利用目的・施設

来園の目的・施設は園路、運動施設、遊具・自由広場の利用が多い



8) 施設への不満

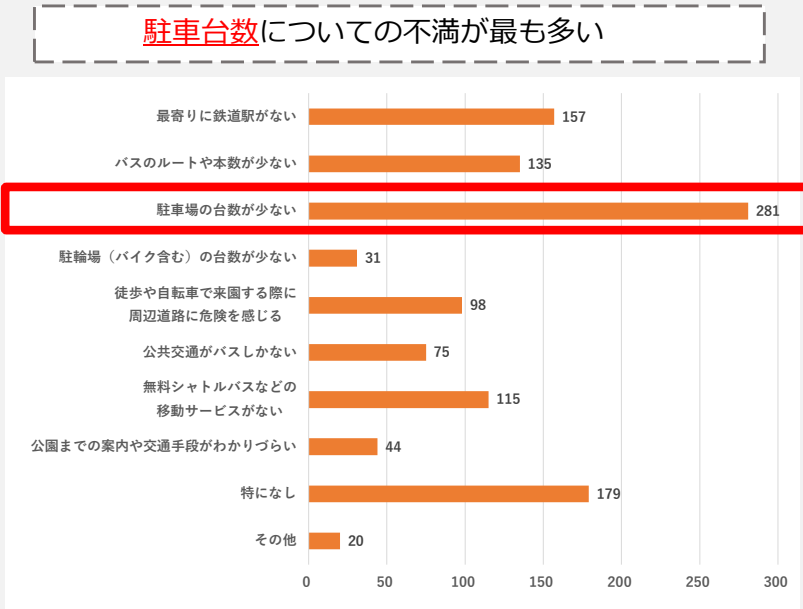
トイレに関する意見が特に多い



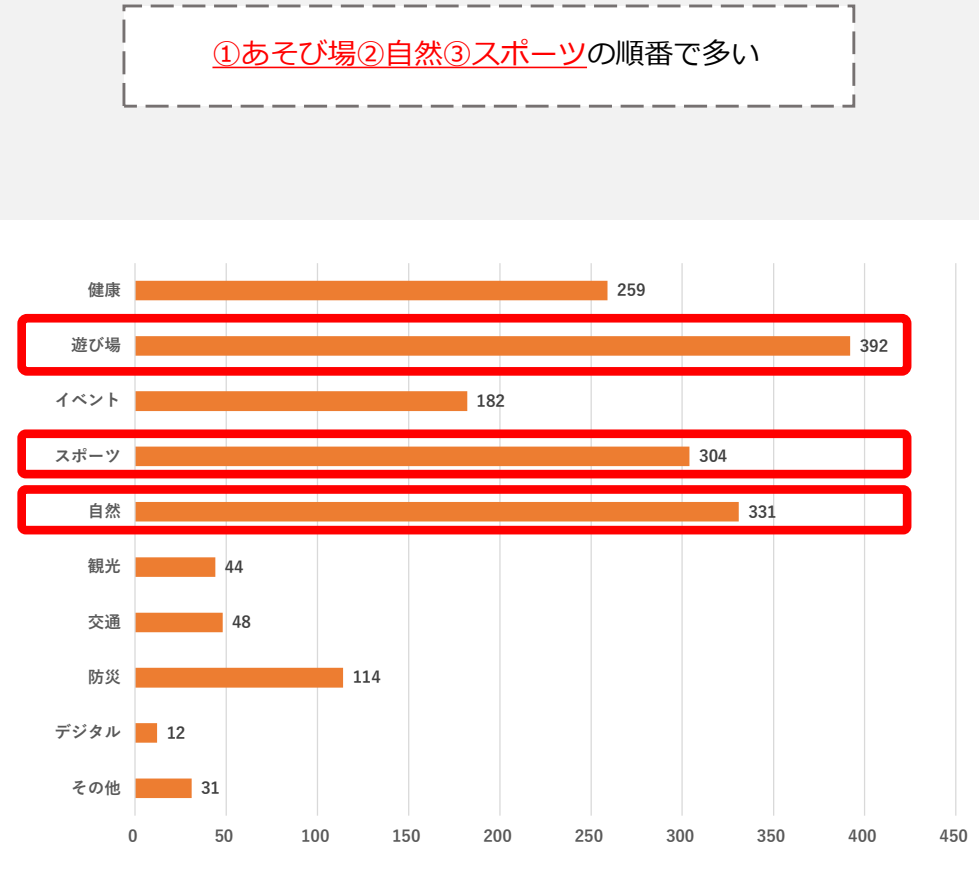
②利用者ニーズ（アンケート調査）

そうか公園
リニューアル

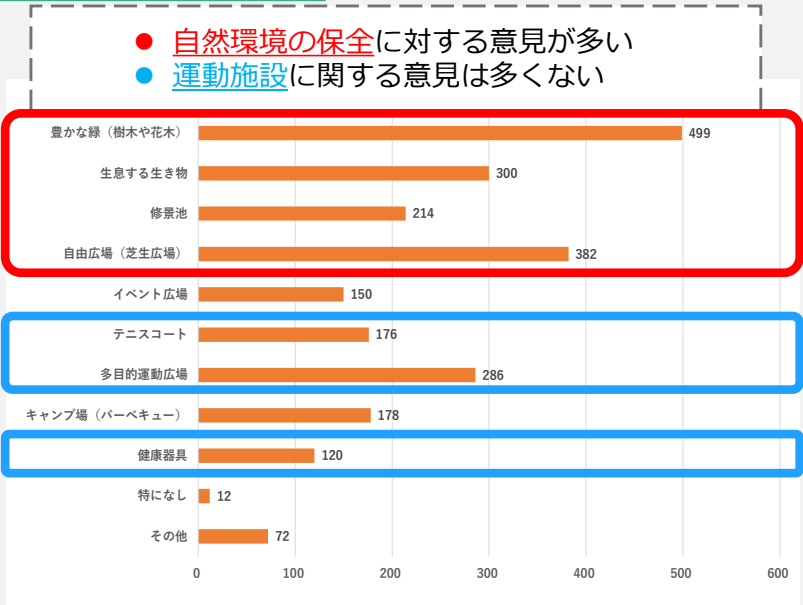
9) 来園手段への不満



1 1) 今後に期待する役割



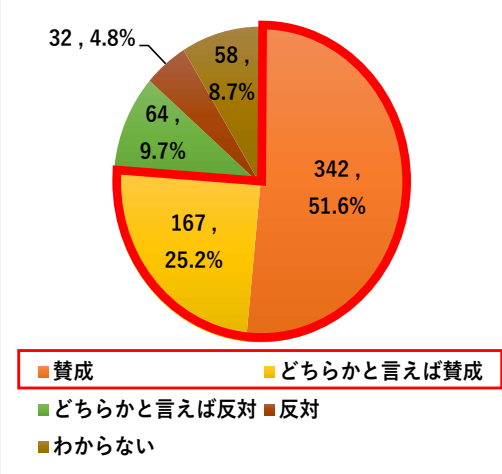
1 0) 残すべき環境や施設



②利用者ニーズ（アンケート調査）

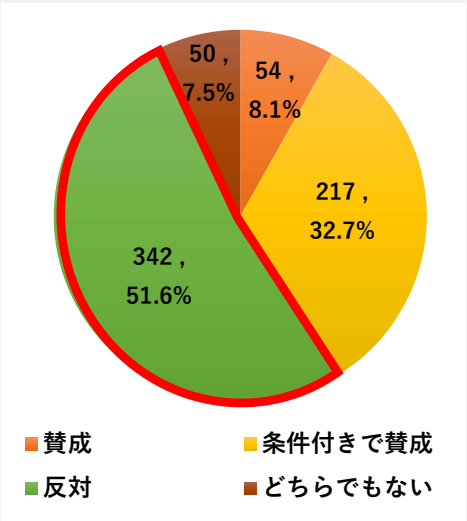
1 2）民間事業者参入の賛否

民間事業者の参入に関しては、概ね賛成の意見が多い



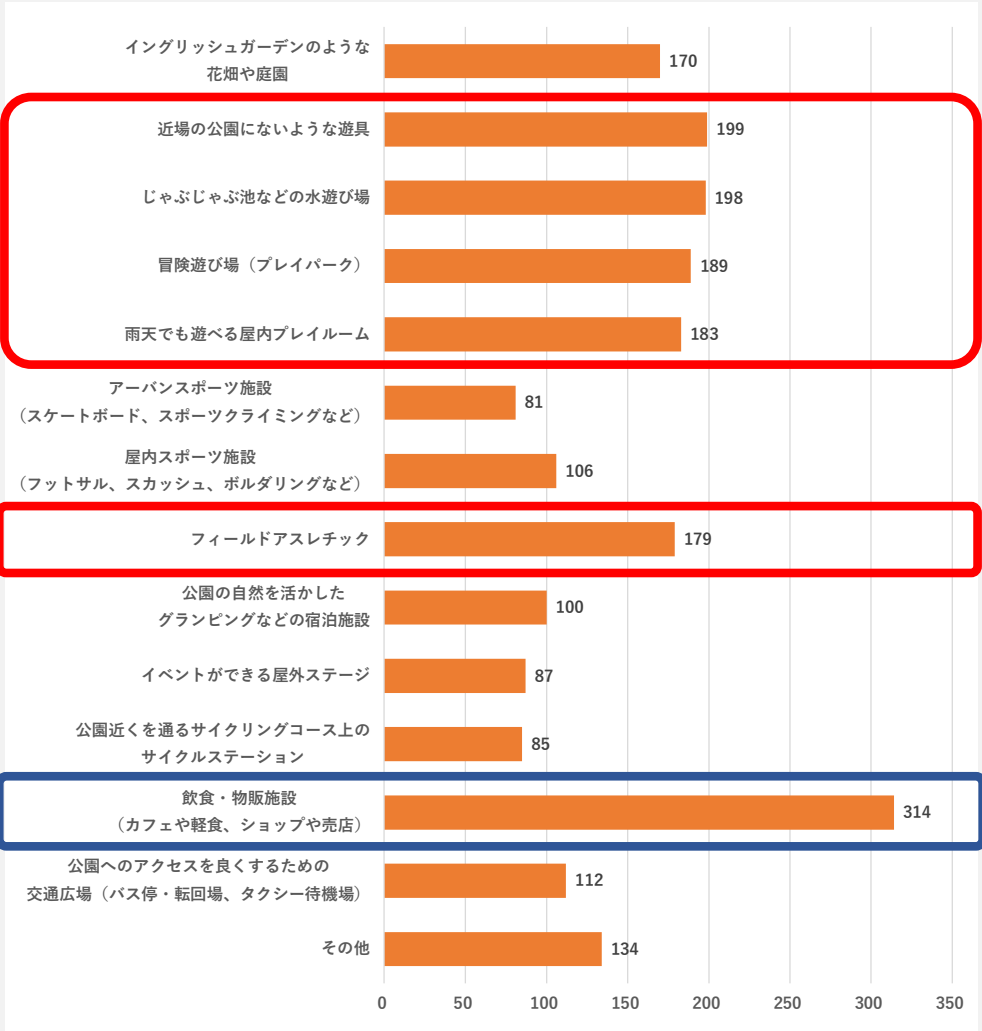
1 3）駐車場の有料化

駐車場の有料化については、半数以上が反対である



1 4）ほしい施設

- こどものあそび場の拡充を望む意見が多い
- 店舗の新設を求める意見が最も多い



②利用者ニーズ（アンケート調査）

1 5）その他調査

様々な年代や団体に対しての調査を実施した。

	調査名	調査方法	調査対象	回答数	調査時期
①	都市計画マスタープラン見直しに係るアンケート	Web回答	市内在住 18 歳以上 無作為抽出	867	令和5年12月
②	スポーツ団体アンケート	用紙配布	代表8団体	8団体	令和5年12月
③	保育士及び子育て支援団体へのアンケート	用紙配布	保育園3園 子育て支援1団体	63	令和6年1月
④	地元懇談会でのヒアリング	懇談会へ参加	地元住民	—	令和6年2月
⑤	そうか公園夏祭りマルシェにてアンケート	アンケートボード	イベント来場者		令和6年9月
⑥	柿木・青柳グランドデザイン策定に係るアンケート	Web回答	小学生、中学生、高校生	1,948	令和7年3月
⑦	大学生へのアンケート	Web回答	大学生	102	令和7年6月



利用者アンケートと同様の回答結果が得られた

③公募型市場調査（プレサウンディング）

1) 目的

リニューアルに関する民間からのアイデアや、公民連携の可能性について（整備・運営の観点から）幅広く聴取することを目的として公募型市場調査を実施した。

2) 調査概要

- 方法：HP上で募集
- 形式：①アンケート調査
②個別対話（ヒアリング）
- 期間：令和6年11月～令和7年1月
- 質問事項：①事業への参入可能性、意欲、条件
②収益事業の可能性
③貴社の本事業に関する活用可能な技術、ノウハウ等

3) 応募事業者

参加事業者	会社数	備考
建設系	4社	
管理運営系	6社	
アウトドア系	3社	個別ヒアリングのみ実施

4) アンケート結果概要

質問	回答概要	条件・課題
①	積極的に参入 1社 条件次第 8社 可能性は低い 1社	・市が行うインフラ整備やコンセプト次第 ・管理体制の一元化
②	カフェ・レストラン等の飲食店 有料駐車場	・配置については、現ドックラン箇所周辺
③	【遊具に関する提案】 独創性のある遊具、オリジナル遊具 【イベントに関する提案】 環境教育プログラム、季節ごとのライトアップ、ワークショップ 【スポーツに関する提案】 パラスポーツエリア、アーバンスポーツ 【新規施設に関する提案】 膜屋根、ラジコン広場、ボール遊びエリア 【既存施設に関する提案】 イベント広場利活用	

- ＜その他意見＞
- ・今ある自然環境を活かしたリニューアルの必要性
 - ・事業期間は15年以上
 - ・整備と運営を同業者
 - ・駐車場の増設

④基本構想策定にあたっての考え方

1) 基本構想の構成

